

ときを越え  
受け継がれるもの

## 鹿合のスギ

### 胆沢区若柳字上鹿合

胆沢区若柳の胆沢川北岸にある丘陵。市天然記念物の「鹿合のスギ」がそびえるこの丘には、かつて山城があった。山城の名前は「鹿合館」。胆沢区内唯一の山城で、地元では山居館とも呼ばれる。東、南、西の三面を沢や絶壁が取り囲む自然の要害であり、北面は土塁と空堀を二重、三重に巡らせている。標高270mに位置する城跡からはかつての仙北街道と胆沢扇状地が一望できる。伝承では安倍貞任の家臣の居城とも、1590年に豊臣秀吉の奥州仕置で所領を没収された柏山伊勢守明吉の家臣高橋盛富の居城とも伝わる。城主は特定されていないが、発掘調査により16世紀ごろには城として活動していたと推察されている。

推定樹齢600年という鹿合のスギは往時の山城の様子を知るだろうが、われわれに教えてはくれない。知られざる歴史は老木とともにある。



1見張り台があったとされる丘陵地の突端に老木は立つ。現在、周辺への立ち入りは禁止されている 2東西南北に太く張り出した枝。長いところでは10mを超えるという枝張りの豊かさは、幹囲4.4mという数字以上に木を大きく見せている 3鹿合のスギの近くに祭られている御駒社。かつては毎年、山の恵みへの感謝などを込めて神楽が奉納されていたという。



広告

